くぬぎ

羽村市立栄小学校
学校だよりNO．２
令和７年4月28日

ふるさとを愛し、豊かな心と
たくましく生きる力を育てる

校長　棗　まゆみ

令和７年度がスタートし、３週間が経ちました。対面式も終わり、１年生の子供たちは休み時間に黄色い帽子をかぶって、元気に校庭で遊んでいます。２～６年生の子供たちも、新しいクラスで、意欲的に学習や活動に取り組んでいます。

始業式では、２～６年生の子供たちに前年度の修了式で話した「守・破・離」を意識して、１学期は「守」を大切にしてほしいという話をしました。栄小の子供たちは、挨拶が自分からできます。また、全校朝会では開始時間前に集合し、話が始まると静かに聞くことができます。これは今まで引き継がれてきた、栄小の子供たちの素晴らしい姿です。６年生はその立派な姿を１年生に見せてくれています。また、他の学年の子供たちも、上級生から学んだ立派な姿を継承しています。栄小のよき伝統として、子供たちが望ましい習慣を身に付け、「守」っていけるよう、今後も学校教育全般を通して、指導・支援してまいります。

今年度も、栄小では、はむらの学校教育に基づき「言葉の力」を中核とした学校づくりを進めていきます。
言葉の力は、絶大です。日々の挨拶をはじめ、「ありがとう」や「よかったね」など、全教職員が子供たちにプラスの言葉掛けを実践し、子供たちが自身のよさ、友達のよさに気付けるようにしていきます。

そして、学校全体で子供たちの「言葉」の力を伸ばし、「やればできる」「伸びている」「役立っている」と子供たちが実感できるよう活動を工夫していきます。言葉の力を生かして、学校に係るすべての人のウェルビーイング向上を目指します。

栄小はコミュニティ・スクール３年目となりました。委員の方々からの意見を生かし令和７年度の教育課程を編成しました。保護者会でもお知らせしていますが、今年は子供たちが地域のお祭り等にも参加できるよう「羽村音頭」を学校で学ぶ機会を設けています。(「人波踊り」も羽村にはありますが、羽村音頭の歌詞が羽村の歴史等も学べるので、羽村音頭を実施することにしました。)
本日の全校朝会では、栄小の地域にお住まいの踊りの先生を子供たちに紹介しました。また、５月１７日（土）の学校公開では、踊りの先生をゲストティーチャーとしてお招きし、低、中、高学年に分かれて「羽村音頭」を学びます。ぜひ、保護者の皆様にもご参加いただき、一緒に楽しんでいただければと思います。

栄小の子供たちが、ふるさとを愛し、豊かな心とたくましく生きる力をもてるよう、今年も教育活動を充実させていきます。今後とも、ご理解・ご協力のほど、よろしくお願いします。

★栄小・校長ブログ★

日々の学校生活における子供たちの様子を伝えています。不定期での更新です。
なお、写真は、個人が特定できないようにするために、遠くから、児童が後ろ向き、横向きになるように撮影するとともに、解像度を低くして掲載しています。

【アドレス】
https://hamurasakae.blogspot.com/?m=1